



平成 29 年 5 月 10 日

各 位

会 社 名 興 銀 リ ー ス 株 式 会 社  
代 表 者 の 代 表 取 締 役 社 長 本 山 博 史  
役 職 氏 名 (コード番号：8425 東証第1部)  
問 い 合 わ せ 先 経 営 企 画 部 長 佐 藤 健 介  
電 話 番 号 0 3 - 5 2 5 3 - 6 5 1 1 ( 代 表 )

## 業績予想値と実績値の差異に関するお知らせ

平成 28 年 5 月 11 日に公表いたしました平成 29 年 3 月期（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）の通期連結業績予想と実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成 29 年 3 月期の通期連結業績予想数値と実績値の差異（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株 当 たり 連 結 当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	百万円 350,000	百万円 18,000	百万円 18,700	百万円 12,000	円 銭 281.37
当期実績値 (B)	429,405	17,962	18,789	12,414	291.08
増 減 額 (B - A)	79,405	△ 37	89	414	—
増 減 率 ( % )	22.7	△ 0.2	0.5	3.5	—
(参考) 前期連結実績 (平成 28 年 3 月期)	364,174	17,573	18,570	11,609	272.20

#### 2. 差異発生 の理由

当社グループは第 4 次中期経営計画に掲げた基本戦略を推進するなか、流通小売業向け不動産リースや REIT 向けブリッジファイナンスなどの不動産関連ビジネスを拡大してまいりました。

こうした状況のなか、賃貸資産として保有していた不動産の売却に伴う売上が当初の見込みを上回る水準で推移したことから、連結売上高について、前回発表予想値を上回ったものであります。

以 上